

ツタヤ図書館 1カ月10万人

レンタル大手「ツタヤ」を展開するカルチュア・コンビニエンス・クラブ(CCC)が運営し、4月に開館した佐賀県の武雄市図書館の来館者数が1日正午、10万人を突破した。前年度と比べ、5倍増のペースという。

旧図書館の年間来館者数は25万5千人だった。4月1日に開館した図書館は、年間50万人の

来館を目指しており、この1カ月の来館者数は目標を倍以上も上回る。4月1日から30日までの図書貸出数は5万5987冊で、前年度比2.21倍。1万3909人が登録した図書カードを居住地別に見ると、市内53.1%、市外46.9%だった。

樋渡啓祐市長は「こんなに早く達成するとは思わなかった」。

佐賀・武雄 登録者 4割市外

大手書店が相次いで新型店を出店する。カルチュア・コンビニエンス・クラブ(CCC)は団塊世代向けの店を展開。文教堂グループホールディングス(HD)は雑貨店を併設し、ブックオフコーポレーションは新刊本も扱う店を出す。出版市場が縮小するなか、各社は新型店で幅広い集客を目指す。

CCCは12月、北海道函館市と千葉市内に「葦屋書店」を開業する。2011年に開いた団塊世代向け「代官山 葦屋書

書店の楽しみ味わって

団塊向け／カフェ併設

U3Y229

大手、新型店で集客

店(東京・渋谷)をモ誌や趣味を深掘りできるデルにする。同店はパツ書籍を集め、シニアのクナバーをそろえた雑支持を得ている。



CCCの「代官山 葦屋書店」は雑貨を関連書籍とセットで並べ、団塊世代を取り込む(東京都渋谷区)

売り場は「車」「料理」などテーマごとに分類。

「料理」なら関連の雑誌やレシピ本、調理器具や調味料などを同じ売り場で扱い、「ネット書店では味わえない発見の楽しさを提供する」(同社)。

14年以降も出店を続け、100店を目指す。

文教堂グループHDは横浜市内の店を改装し、文具や雑貨のディスプレイを併設。ブックオフコーポレーションは13年度中に中古書だけでなく、新刊本や雑誌も扱うカフェ併設型店を出す。